

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2009-155547(P2009-155547A)

【公開日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2007-337442(P2007-337442)

【国際特許分類】

C 10 M 169/04 (2006.01)

C 10 M 101/02 (2006.01)

C 10 M 101/04 (2006.01)

C 10 M 129/72 (2006.01)

C 10 M 107/02 (2006.01)

C 10 M 105/04 (2006.01)

C 10 M 105/06 (2006.01)

C 10 M 105/32 (2006.01)

C 10 M 107/34 (2006.01)

C 10 N 30/06 (2006.01)

C 10 N 40/20 (2006.01)

【F I】

C 10 M 169/04

C 10 M 101/02

C 10 M 101/04

C 10 M 129/72

C 10 M 107/02

C 10 M 105/04

C 10 M 105/06

C 10 M 105/32

C 10 M 107/34

C 10 N 30:06

C 10 N 40:20

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月27日(2010.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

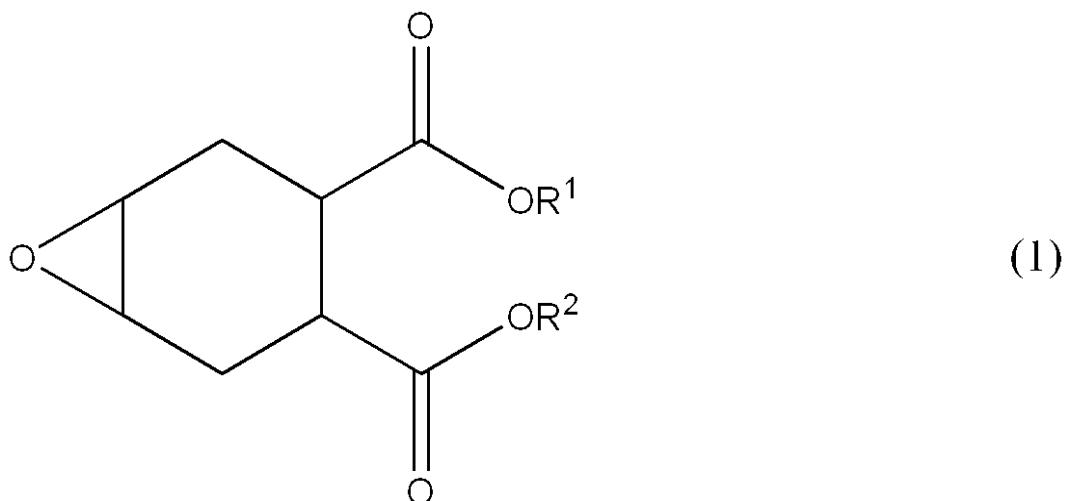
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鉱油、動植物油及び合成油からなる群より選ばれる少なくとも1種の基油及び一般式(1)

【化1】



[式中、R¹は、下記A群より選ばれる置換基を表し、R²は、下記A群又はB群から選ばれる置換基を表す。

A：炭素数16～22のエポキシ基を有する飽和脂肪族炭化水素基

B：炭素数16～22の飽和脂肪族炭化水素基]

で表される少なくとも1種のエポキシ化合物を含有してなる金属加工用潤滑油組成物。

【請求項2】

一般式(1)で表されるエポキシ化合物の含有量が1～30%である請求項1に記載の金属加工用潤滑油組成物。

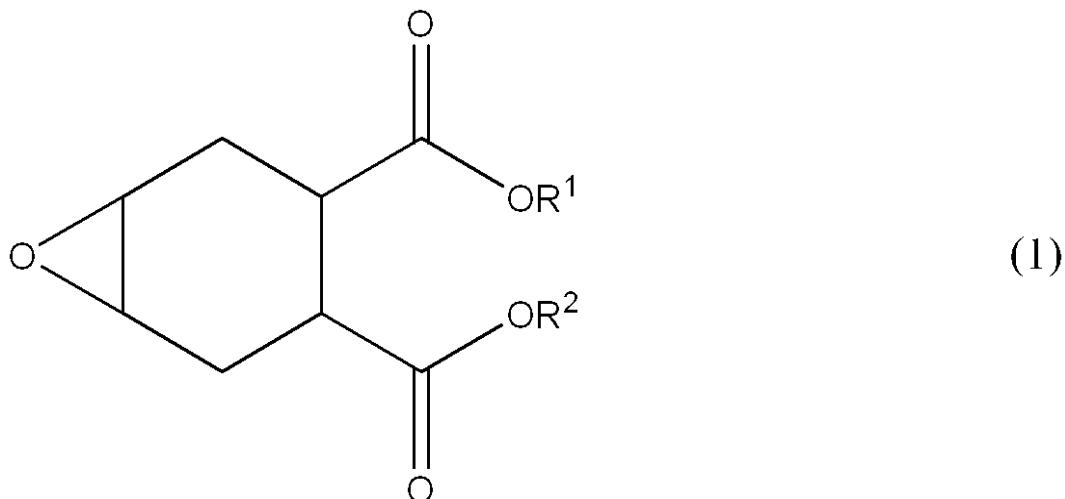
【請求項3】

一般式(1)において、R¹及びR²がA群より選ばれる置換基である請求項1又は2に記載の金属加工用潤滑油組成物。

【請求項4】

一般式(1)

【化2】



[式中、R¹は、下記A群より選ばれる置換基を表し、R²は、下記A群又はB群から選ばれる置換基を表す。]

A：炭素数16～22のエポキシ基を有する飽和脂肪族炭化水素基

B：炭素数16～22の飽和脂肪族炭化水素基]

で表される少なくとも1種のエポキシ化合物を含有せしめることを特徴とする、金属加工用潤滑油組成物の摩耗防止性能向上方法。